E▸Eye
最新のパルス光線技術による
ドライアイ治療がもたらす世界的革新
IRPL®
E▸SWIN pro

“マイボーム腺機能不全は
世界中でドライアイの主な原因であると
認められている”

上記の文章は、ARVO（視覚と眼科学研究協会会議）が2010年に編纂したマイボーム腺機能不全(MGD)に関する報告書の一部です。世界各地の眼科および検眼専門家など50人以上が参加しました。

これ以降、従来の治療とは全く異なるマイボーム腺機能不全の効果的な治療法が開発され、150人以上の臨床テストにおいて画期的な成果を上げています。

症状

ドライアイは加齢とともに増加し、地域による差異はあるものの人口の5～15％がかかる一般的な症状です。ドライアイは現代生活における状況や習慣（コンピューター画面での作業、車の運転、コンタクトレンズの使用など）により、しばしば深刻な不快感をもたらしています。

一般的なドライアイの原因は涙液膜の問題で、具体的には涙液不足や過度の蒸発のためです。

大部分は蒸発によるもので、マイボーム腺が分泌する涙液膜の外部脂質層の不足が原因となっています。

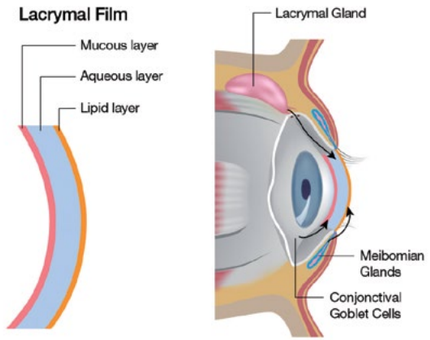
上眼瞼と下眼瞼には約80個のマイボーム腺があります。

マイボーム腺が生成する脂質体は、涙液の蒸発を防ぎ、眼球表面の凹凸およびジオプトリーの凸形に適合させます。

脂質体は分極性を有する脂肪酸から成り、その流動性は体温によって保たれています。表面では極性がなく涙液を安定させ、眼瞼との接触に潤滑性を与えています。リオラン筋が涙液膜の拡大を可能にしています。

眼の機能に必要な涙液膜は3つの層からできています

- ムチン層：眼球に接する層、結膜粘液細胞より分泌
- 水層：涙液腺より分泌
- 油層：マイボーム腺より分泌



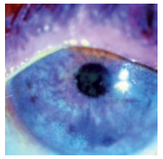
マイボーム腺機能不全(MGD)

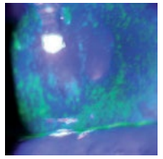
マイボーム腺が関係する脂質体の生成障害は、過度の涙液蒸発、不安定な涙液膜および結合部分の炎症反応の原因となります。

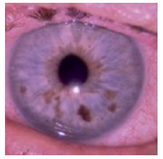
Tその結果、近距離での作業（コンピューター画面での仕事など）では「眼が焼ける」視覚障害が増加するため、眼を使う仕事が困難になります。

症状が進行すると常時不快感を覚えるようになったり、逆に涙液が増加し、コンタクトレンズの装着ができなくなったりします。

マイボーム腺開口部の委縮により組織の構造の変化が起きると、持続的な感染、麦粒腫、結膜への二次感染、霰粒腫、さらに深刻な場合には冠状上皮に小潰瘍が出現することもあります。.







従来の治療法

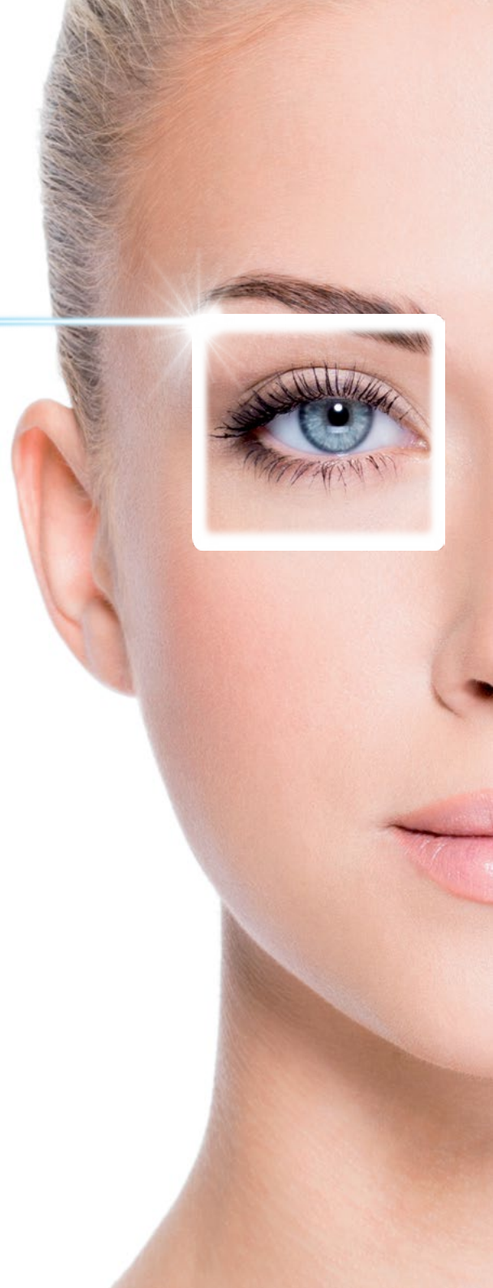
日常の機能不全についてはさまざまな治療法があります。しかし従来までの治療法は代替的なものであり、多くの場合、患者の方々の不快感を除去するには不十分でした。

E▸Swin は革新を起こします…

E▸Eyeによる治療
眼科治療に役立つ
最新のパルス光線技術:
the IRPL®(Intense Regulated Pulsed Light).

E▸Eye は完全にコントロールされた均一間隔のパルス光線を生み出すことにより、新しい種類の多色光を生成するマシンです。このパルスは制御された連続的なパルス形となっています。エネルギー、スペクトルおよび時間の適正な設定により、マイボーム腺を刺激して、正常な機能を回復させます。

2013年Medical CE認証
2013年TGA登録承認.



簡単＆迅速

- 施術はわずか数分間で終わります。
- リクライニング式の椅子に座って施術を受けることが好ましいです。専用の保護用アイウェアを患者の目に合わせて装着させ、下まぶたにオプティカルジェルを塗ります。
- 通常出力で眼角外側から眼角内側にかけて、下まぶたの下部に連続して4-5回フラッシュ。
- 同じプロセスを反対側の目の下瞼にも行います。.

すばやい効果

- 施術後、非常に短い期間（2日程度）でマイボーム腺に与えた刺激の効果が出ます。
- 効果を十分に得るために、決められた施術手順を遵守してください。下記の3~4回のセッションを行います。

  - 初回
  - 15日目
  - 45日目
  - 75日目

治療結果

E▸Eye

すべての種類のマイボーム腺機能不全に対してほぼ同等の効果があります。

ただし、水分または粘液体に関連した症状、または最初に治療が必要な二次感染の症状がある場合には効果を有しません。.

2011－2012年、フランスにおいて21歳～90歳(平均年齢67歳)の患者80人を対象として行った臨床試験の結果は、最初2回の治療で満足率90％という顕著な改善を示しました。

この結果は、治療前後の不快レベルと読書およびテレビ視聴の凝視時間の改善について、患者に対して行ったアンケートによるものです。改善は初回の施術から2日くらいで顕著に見られ、2回目およびそれ以降の治療後も増加が認められています。

効果の定量化

臨床試験では、当初レベル2(オックスフォード分類)であった患者の45％が、フルオレセインを点眼して確認したところ、1～2レベルの改善を見ました。レベル1の患者の81％は１レベルの改善が確認されています。

試験結果は E▸Eye 治療の２か月後(平均)に確認されました。迅速で簡単に結果が出る E▸Eye は様々な治療において革命的な手法になります。

さらに、レベル3～4の重症者に対しては眼瞼の内部および上部への処置を行う必要があります。その場合、HAPTICレンズでの眼球の保護が必要となります。ここでも１～２レベルの改善が期待されています。

E▸Eye

IRPL®(Intense Regulated Pulsed Light)
眼科医療、検眼業界に
貢献する技術

簡易性

E▸Eye は簡単で使いやすいソフトウェアでドライアイ治療に貢献します。プログラムはLCDタッチスクリーンから設定が可能。

安全性

1. MedicalCE認証・ 2013年TGA登録承認
2. 製品保証(2年間)
3. 最新技術 IRPL® (Intense Regulated Pulsed Light).
4. フランス製
   ISO9001およびISO13485認証取得済

世界最大の医療用IPL機器メーカー E▸Swin が100%フランス国内で開発・生産

簡単、迅速、テイラーメイド
眼科医・検眼専門家のために

- 数秒で起動
- 予熱不要
- コンパクト－限られたスペースでも利用可能

仕様

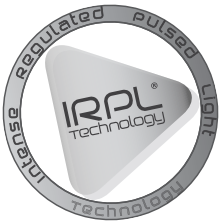
技術	IRPL® (Intense Regulated Pulsed Light)
本体サイズ(長さ・幅・高さ)	345 x 320 x 440 mm
本体重量	11,5 kg
梱包サイズ(長さ・幅・高さ)	740 x 460 x 610 mm
梱包重量	17,5 kg
騒音レベル	55 dBA
消費電力	540 VA
保証	2年間

技術革新を感じてみませんか

E▸Eye

E▸Eye

最新のIRPL®革新的技術



より詳細なご案内を希望される方は、
下記にお電話ください。

+33 1 30 46 37 68
+33 1 30 46 37 69

Email us :
commercial@e-swin.com

E▸Swin

医療用IPL技術分野におけるフランスのリーダーカンパニー

PLCA-1412-012-00